

■男女共同参画・女性研究者支援・理系女子のキャリア教育・女子中高生理系選択支援に関わる経験とネットワーク

1) 機関内における活動

- ・理化学研究所：相談員 2002-2005 年度 女性非常勤、派遣、パート職員の交流と相談に尽力
- ・日本大学： 女性研究者支援モデル育成事業（科学技術振興調整費）2008-2010 年度 申請書作成から主体的に関わり、推進コア長として予算総額 1 億 5 千万円規模 3 年間のプロジェクトを推進し、A 評価を得た。その理由は採用目標の達成と様々な活動成果についてである。意識改革講演会や若手研究者育成のための講習会、女子中高生理系選択支援活動に力を入れ、保育ニーズアンケート調査等も実施した。

事業終了後、本部および各学部にも男女共同参画委員会を作り、予算立てして運営した。各学部の男女共同参画委員会では、主として意識改革後援会や女子中高生理系選択支援を実施している。私は生産工学部の男女共同参画委員会委員長を約 8 年間務めている。また、本部理事人事担当が男女共同参画担当を兼務することになり、男女共同参画推進行動計画にこのプロジェクトの成果が記載されるなど、大学としても男女共同参画に取り組むようになった。生物資源科学部では特に女性教員が増加し、休日授業日の一時保育などが導入された。

2012-2013 年度 理事長特別研究プロジェクトとして理系女子学生のキャリア教育をテーマに採択され、日本大学の理系 9 学部、短大、および附属女子中高が参加した。プロジェクトサブリーダーとして企画運営に参加した。2010 年発行の日本大学女性研究者ロールモデル集（日本大学のキャリアウェイモデルたち）の改訂版 2013 発行

2017 年度は代表として、日本大学学部連携シンポジウムに採択され、日本大学の各学部の女性研究者の研究交流シンポジウムを 11 月 10 日に開催予定である。2010 年、2013 年と作成した女性教員卒業生のロールモデル集の 2017 年改訂版発行予定。 本年の生産工学部の男女共同参画意識講演会を 11 月 9 日開催し、男女共同参画学協会連絡会において Unconscious Bias についてリーフレットにまとめられた大坪久子 日本大学薬学研究所上席研究員（元モデル育成事業推進ユニット長）、および小浜正子 日本大学文理学部教授に主として LGBT についてお話いただく予定である。

これらの活動が評価され、2009 年度と 2016 年度の日本大学生産工学部教育貢献賞を受賞した。2017 年 6 月に受賞講演を行った。

2) 男女共同参画学協会連絡会での活動

上記連絡会は現在では 96 の学協会が参加する学会における男女共同参画について情報交換する会であり、私は 2005 年から参加している。主な事業として大規模アンケート調査、年に 1 回のシンポジウム、および女子中高生夏の学校への協力がある。

- ・大規模アンケート調査：2007 年（平成 19 年度）より「科学技術系専門職における男女共同参画実態の大規模調査」を開始。それ以前の調査もあり、これを第 2 回アンケートとしている。

第 2 回アンケート調査実行委員会委員をつとめ、第 3 回アンケートでは調査項目選定、結果の解析、結果を元にした提言作成 の全てに実行委員として関わった。研究者がボランティアとして実施するため、多くの労力を要するが、提言は政府に取り入れられ、白書への記載、新たな施策等の実施につながっている。2016

年第4回アンケート実施、報告書がホームページに記載されている。毎回同じ質問項目もあるので、男女共同参画環境の経年変化についても考察されている。

・シンポジウムでの講演と分科会企画

2016年10月開催の第14回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム全体会議「国際的にみて日本の研究者における女性割合はなぜ伸びないのか?」にて、韓国の女性研究者活動状況について講演

2013年10月 開催の第11回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム分科会「女性研究者のポテンシャルを最大限に：問題点と国際比較!」を企画、講演「東アジアの女性研究者リーダー育成状況と必要な支援策について」

「女性研究者の採用促進に関する他国の政策と効果の調査」WGを日本女性科学者の会が中心となって運営。2017年10月開催の第15回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムにおいて、ポスター発表。

・女子中高生夏の学校：

2005年より国立女性教育会館において開催、全国の女子中高生の合宿形式、学協会連絡会の各学会が実験・ポスターキャリア相談に協力。2006年より、連絡会の「女子中高生理系選択支援」WGとして活動。

2006年度より企画委員として参加、プログラムを企画・実施した。2012年には企画委員長を務め、その成果について、JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」連絡協議会にて報告した。特に女子大学生TAが中心となって企画する内容は、女子中高生に好評であり、中高生から大学生TAそして卒業して実行委員として戻ってくるという正のスパイラルが成功している。女子中高生の理系選択に重要な、父母および教員向けにもプログラムが容易されている。

3) 学会における男女共同参画と女性研究者交流

・日本発生物学会 男女共同参画WG長として、大会において男女共同参画シンポジウムを企画、講演

・日本女性科学者の会(SJWS) 2009-2013 2015-現在 理事(学協会連絡会担当) 2012年10月第9回学術大会 東京 実行委員長 現在は、若手のために、ロールモデル集 学術大会における相談会など企画中

・高分子学会 男女共同参画講演会にて招待講演

・工学教育協会発行「工学教育」に論説掲載(査読あり)2011年

・世界工学会議 WECC(京都)での発表と Proceedings への Full Paper 論文掲載 2015年 JISTEC 国際調査結果について

4) 国際的なネットワーク形成と調査

・日中韓女性科学技術指導者フォーラム 中国 CFAST 韓国 KOFWST 日本 JNWES*が MOU を交わして持ち回り開催

*Japan Network of Women Engineers and Scientists (JNWES)は日本女性科学者の会(SJWS)、日本女性技術者フォーラム(JWEF)、日本女性技術士の会(JSPEW)から成る

第2回 2009年10月 日本 東京 東京大学 聴衆として参加

第3回 2010年11月 中国 福州 中国科学技術協会 CAST 年會にて 日本の施策について招待講演

第4回 2012年11月 韓国 ソウル ディスカッションメンバー 招待

第5回 2013年11月 日本 東京 日本大学本部にて主催開催 STEMにおけるリーダー育成教育がテーマ 会頭としてオープニングアドレス

翌日 サテライト会議を つくば市 物質材料研究機構にて開催 日中韓アンケート結果報告

第6回 2014年8月 中国 内モンゴル自治区 トンリャオ セッション司会として招待

第7回 2015年8月 韓国 ソウル Gender Summit6のサテライトとして開催 セッション司会として招待

第8回 2017年10月 中国 上海 中国高分子学会のサテライトとして開催 団長として招待 開会および閉会の辞 パネルディスカッションに参加

次回 2019年は日本開催を予定

この間、国際政治情勢について微妙な時期もあったが、続けて来られたことは、大変喜ばしいこととされている。関係者の熱意の賜である。

・韓国 KOFWST および WISSET との交流： 上記フォーラムが縁となり、KOFWST、WISSET およびソウル大学に招待されて講演した。2014 および 2016

・JISTEC 国際調査 結果報告

・JISTEC 国際調査結果について、WECC での発表と Proceedings への Full Paper 論文掲載 2015年

・15th APEC Women Leaders Network Meeting に参加 2010年9月 東京

・APRU Asia-Pacific Women in Leadership Program (APWiL) 会議 2014年7月 東京 品川 京都大学オフィス 日米の大学研究者がリーダー育成についてディスカッション

・W-STEM Networking Conference 2014 J-Win 主催 2014年11月 お茶の水女子大学 に学生と共に参加 日米の研究者と学生が交流

・Gender Summit 10 (GS10) WG1 委員として、2017年5月開催の国際会議でワークショップコーディネータ 司会を務めた。Parallel Session 2 Promotion of Gender Equality by Improving Access and Use of Researcher Database

・APNN & GWST JNWES 主催 2017年7月横浜で開催 GWST には SJWS として例会リレートーク企画、また生産工学部女子学生プロジェクトとしてポスター展示、学生2名がポスター発表

・米国 コロラド大学 女性研究者支援モデル育成事業の2009年頃から、コロラド大学と交流 WEB 講義を受講するなど、米国の女性研究者支援 ADVANCE プログラムについて学んだ。

・英国 ポーツマス大学 2015年7-9月 海外派遣研究員として滞在した。Tara Dean 学部長（女性）と交流し、英国の Aurora という女性のアカデミックリーダー育成プログラムについて学んだ。

・ドイツ DFG と日本大学が共同シンポジウム 日独国際シンポジウム 学術研究職におけるジェンダードイツの取組の実践例 を日本大学にて開催 2014年9月

・The 2017 Albert Nelson Marquis Lifetime Achievement Award 受賞（サイエンスへの貢献および男女共同参画活動）

5) 国の機関等とのつながり

・文部科学省： 女性研究者支援モデル育成事業から日中韓フォーラムまで 度々訪問してご挨拶やお願い

をした。 その他委員として科研費審査や科学技術こども白書作成に関わった。

- ・科学技術振興機構 (JST) :男女共同参画アドバイザー委員会委員 同委員会ワーキンググループ委員を務めた。2014年3月の委員会で JISTEC アンケート結果報告 ワーキンググループではサイエンスアゴラにて、次世代向け女性研究者による講演会実施 JST ロールモデル集「理系女性のきらめく未来」作成

- 2016年より、Gender Summit 10 (GS10) WG1 委員としてデータベース作成、2017年5月開催の国際会議でワークショップコーディネーター 司会を務めた(上記4) 参照)。女性研究者支援および男女共同参画に関する情報を JST ポータルからリンクをたどれるワンストップサービスサイトを作成した。

- ・科学技術国際交流センター JISTEC:「女性研究者の採用・処遇に関する国際調査」2013年8-9月 WEB 実施

東アジア女性研究者調査委員会 2012-2013年 委員長を務めた。

- ・内閣府 SJWS 総会での局長挨拶 GS10 データベース作成の相談等で交流
- ・国立女性教育会館 (NVEC) 女子中高生夏の学校の他、NVEC 主催研修会等で講演 2012年11月「大学における男女共同参画推進セミナー」

- ・日本学術会議主催講演会 2009年3月 「学術分野における男女共同参画促進のために」パネリスト

6) 他大学機関等との交流

他大学の女性研究者支援モデル育成事業と合同でシンポジウムを実施、外部評価委員や講演講師も務めた。

- ・名古屋工業大学:2015年10月 男女共同参画講演会で講演 2016年外部評価委員会委員

- ・岐阜大学:2011年6月 男女共同参画講演会にて講演 工学系女子学生をふやし女性エンジニアを育てよう

- ・東京医科大学:2014-2015年度 モデル育成事業 外部評価委員会委員

- ・コンソーシアム CHIBA: 千葉大学 東邦大学 放射線医学総合研究所が採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業」プログラムの「ダイバーシティ CHIBA 研究環境促進コンソーシアム」に生産工学部として参加。連絡協議会や講演会、研究発表会に参加

- ・沖縄科学技術大学院大学:学会開催時に、マチ・ディルワース副学長および久保真季副学長を訪問 (以前より交流あり) 女性研究者を増やす方法や、無意識のバイアスについてディスカッションした。

- ・私立大学連携シンポジウム: モデル育成事業の中で、採択私立大学が連携してシンポジウムを開催、私大連シンポジウムも開催した。 2008年11月日本女子大学

- ・女性研究者支援モデル育成事業採択機関合同シンポジウム: JST が主催するモデル事業採択機関合同シンポジウム、2009年には日本大学本部で主催開催した。

- ・東北大学:2010年12月 第9回東北大学男女共同参画シンポジウム パネリスト